

(第八號様式)

船員保険診療券

氏名	生年月日	住所	被保険者資格喪失年月日	船名	船種	所有者	備考	傷病名	發病又ハ負傷年月日	船所有者ノ扶助義務終了年月日	療養ノ給付開始年月日
	年 月 日		昭和 年 月 日			(住所又ハ所在地) (氏名又ハ稱)			昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	※昭和 年 月 日
關東海務局長 氏 名 印											

注意 (一) 船舶所有者の扶助義務が終つてからでなければ保険醫の診療を受けることができません
(二) 保険醫に就いて診療を受ける場合にはこの診療券を保険醫に渡さなければなりません

(備考)

- 一 本診療券ノ大キサ縦約二十一糎、横約十五糎トス
- 二 本診療券ハ疾病又ハ負傷ノ異ル毎ニ一通發行スルモノトス
- 三 ※印ヲ附シアル欄ハ保險醫ニ於テ之ヲ記載スルモノトス

(第九號様式)

船員保険保險醫變更承認書

氏名	生年月日	住所	被保險者資格喪失年月日	船名	船種	所有者	備考	傷病名	發病又ハ負傷年月日	療養ノ給付開始年月日	現在受療ノ保險醫(診療所所在地) (氏名)
	年 月 日		昭和 年 月 日			(住所又ハ所在地) (氏名又ハ稱)			昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	
關東海務局長 氏 名 印											

注意

變更後の保險醫に就いて診療を受ける場合にはこの承認書をその保險醫に渡さなければなりません

(備考)

本承認書ノ大サハ縦約二十一糎、横約十五糎トス

關東州船員保險法施行規則

(第十號様式)

船員保險診療所入院承認書

氏名	生年月日	住所	被保險者資格喪失年月日	船名	船種	船主(住所又ハ所在地) (氏名又ハ稱)	備考	傷病名	發病又ハ負傷年月日	療養ノ給付開始年月日	入院豫定ノ診療所(所在地) (名稱)	
	年 月 日 男女別		昭和 年 月 日						昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	(所在地)	
右診療所入院承認ス							備考					
昭和 年 月 日							關東海務局長 氏	名 印				

注意 診療所に入院する場合にはこの承認書をその診療所に渡さなければなりません

(備考) 本承認書ノ大サハ縦約二十一糎、横約十五糎トス

(別表第一)

番號	發疾年金ヲ支給スベキ程度ノ發疾ノ狀態
一	兩眼ノ視力〇・一以下ニ減ジタルモノ又ハ一眼失明シ他眼ノ視力〇・三以下ニ減ジタルモノ
二	咀嚼若ハ言語ノ機能ヲ廢シタルモノ又ハ咀嚼若ハ言語ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘スモノ
三	兩耳ノ聽力耳殼ニ接セザレバ大聲ヲ解シ得ザルモノ
四	背柱ニ著シキ畸形又ハ運動障害ヲ殘スモノ
五	一上肢ヲ腕關節以上ニテ失ヒタルモノ又ハ十指ヲ失ヒタルモノ
六	一上肢ノ三大關節ノ中ニ關節以上ノ用ヲ廢シタルモノ又ハ十指ノ用ヲ廢シタルモノ
七	一下肢ヲ足關節以上ニテ失ヒタルモノ又ハ十趾ヲ失ヒタルモノ
八	一下肢ノ三大關節ノ中ニ關節以上ノ用ヲ廢シタルモノ
九	胸腹部臟器ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘シ終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ
十	精神又ハ神經系統ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘シ終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ
十一	以上各號ニ該當セザルモノト雖モ疾病又ハ負傷ニ因リ終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ

(備考)

視力ノ測定ハ萬國式視力表ニ依ル屈折異狀アルノニ付テハ矯正視力ニ付測定ス

指ヲ失ヒタルモノトハ拇指ハ指關節、其ノ他ノ指ハ第一關節以上ヲ失ヒタルモノヲ謂フ

指ノ用ヲ廢シタルモノトハ指ノ末節ノ半以上ヲ失ヒ又ハ掌指關節若ハ第一指關節(拇指ニ在リテハ指關節)ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノヲ謂フ

趾ヲ失ヒタルモノトハ其ノ全部ヲ失ヒタルモノヲ謂フ

趾ノ用ヲ廢シタルモノトハ第一趾ハ末節ノ半以上、其ノ他ノ趾ハ末節以上ヲ失ヒタルモノ又ハ蹠趾關節若ハ第一關節(第一趾ニ在リテハ蹠趾關節)ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノヲ謂フ

關東州船員保險法施行規則

(別表第二)

番號	變疾手當金ヲ支給スベキ程度ノ變疾ノ狀態
一	兩眼ノ視力〇・六以下ニ減ジタルモノ又ハ二眼ノ視力〇・一以下ニ減ジタルモノ
二	兩眼ノ半盲症、視野狹窄若ハ視野變狀ヲ殘スモノ又ハ兩眼ノ眼瞼ニ著シキ缺損ヲ殘スモノ
三	鼻ヲ缺損シ其ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘スモノ
四	咀嚼又ハ言語ノ機能ニ障害ヲ殘スモノ
五	兩耳ノ聽力四十種以上ニテハ尋常ノ話聲ヲ解シ得ザルモノ又ハ一耳ノ聽力耳鼓ニ接セザレバ大聲ヲ解シ得ザルモノ
六	頸部ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノ
七	一手ノ一指以上ヲ失ヒタルモノ(中指、環指又ハ小指ノミヲ失ヒタルモノヲ除ク)又ハ一手ノ拇指ヲ用テ變シタルモノ、示指ヲ併セ二指ヲ用テ變シタルモノ若ハ拇指及示指以外ノ三指ノ用ヲ變シタルモノ
八	一上肢ノ三大關節中ノ一關節ノ用ヲ變シタルモノ又ハ一上肢ニ假關節ヲ殘スモノ
九	一下肢ノ三大關節以上短縮シタルモノ
十	一下肢ノ用テ變シタルモノ又ハ一足ノ第一趾若ハ他ノ四趾ヲ失ヒタルモノ
十一	十趾ノ用テ變シタルモノ又ハ一足ノ第一趾若ハ他ノ四趾ヲ失ヒタルモノ
十二	胸腹部臟器ノ機能ニ障害ヲ殘シ輕易ナル勞務ノ外服スルコトヲ得ザルモノ
十三	精神ニ障害ヲ殘シ輕易ナル勞務ノ外服スルコトヲ得ザルモノ
十四	神經系統ノ機能ニ障害ヲ殘シ輕易ナル勞務ノ外服スルコトヲ得ザルモノ
十五	以上各號ニ該當セザルモノト雖モ疾病又ハ負傷ニ因リ船員トシテ從來ノ勞務ニ服スルコト能ハザルモノ

(備考) 第一表ノ備考ニ同ジ

(別表第三)

被保險者 タリシ期間	被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル船員トシテ船員ニ乘組ミタル期間	第七年以上	六年以上	五年以上	四年以上	三年以上	二年以上	一年以上
五年以上	第百五十六條ノ日前十五年間ニ於テ船員保險法第十七號ノ規定ニ依ル							
六年以上								
七年以上		五・五						
八年以上		五・五	四・五					
九年以上		六・〇	五・〇	四・〇				
十年以上		六・〇	五・〇	四・〇	三・〇			
十一年以上		六・五	五・五	四・五	三・五	二・五		
十二年以上		六・五	五・五	四・五	三・五	二・五	一・五	
十三年以上		七・〇	六・〇	五・〇	四・〇	三・〇	二・〇	一・〇
十四年以上		七・〇	六・〇	五・〇	四・〇	三・〇	二・〇	一・〇

關東州船員保險法施行規則

八年以上			六・〇月	六・五	六・五	七・〇	七・〇	七・五	七・五	八・〇	八・〇
九年以上	七・〇月	七・〇	七・五	七・五	八・〇	八・〇	八・五	八・五	九・〇	九・〇	九・〇
十年以上	八・〇	八・〇	八・五	八・五	九・〇	九・〇	九・五	九・五	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇
十一年以上	九・〇	九・〇	九・五	九・五	一〇・〇	一〇・〇	一〇・五	一〇・五	一〇・五	一〇・五	一〇・五
十二年以上	一〇・〇	一〇・〇	一〇・五	一〇・五	一一・〇	一一・〇	一一・五	一一・五	一一・五	一一・〇	一一・〇
十三年以上	一一・〇	一一・〇	一一・五	一一・五	一二・〇	一二・〇	一二・五	一二・五	一二・五	一三・〇	一三・〇
十四年以上	一二・〇	一二・〇	一二・五	一二・五	一三・〇	一三・〇	一三・五	一三・五	一四・〇	一四・〇	一四・〇

一四 船員保險事務共助ニ關スル件

(昭和十五年六月一日 勅令第三百六十七號)

内地、朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ當該地域以外ノ地域ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關シテハ其ノ地域ガ内地ナルトキハ厚生大臣ノ定ムル所ニ依リ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)、朝鮮ナルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督府遞信局長竝ニ管海官廳、郵便局長及郵便所長、臺灣ナルトキハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ臺灣總督府交通局總長竝ニ管海官廳及船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市尹又ハ街庄長、關東州ナルトキハ滿洲國駐劄特命全權大使ノ定ムル所ニ依リ關東海務局長相互ニ其ノ事務ヲ行フ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二二五 船員保險事務共助ニ關スル勅令施行ニ關スル件

(昭和十五年六月一日
厚生省令第二十一號)

第一條 昭和十五年勅令第三六七號船員保險事務共助ニ關スル件ニ依リ朝鮮、臺灣又ハ關東州(以下他ノ地域ト稱ス)ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ内地ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル事務ハ本令ノ定ムル所ニ依リ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ)之ヲ行フ

第二條 地方長官ガ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對スル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル事務ヲ行フ場合ニ於テハ昭和十五年厚生省令第十七號内地以外ノ地ニ於テ爲ス船員保險ノ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル件ニ相當スル他ノ地域ノ法令ノ規定ニ依ルモノトス
地方長官ガ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル診療券、保險醫變更ノ承認書又ハ診療所入院ノ承認書ハ船員保險法施行規則様式第五號、第六號又ハ第七號ニ依ルベシ

船員保險法施行規則第二十七條、第三十三條、第八十五條、第八十六條及第百六條ノ規定ハ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對スル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二二六 船員保險特別會計法

(昭和十五年三月二十七日
法律 第十一號)

第一條 船員保險事業ノ會計ハ之ヲ特別トシ其ノ歲入ヲ以テ其ノ歲出ニ充ツ

關東州、朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險ノ事業ノ歲入歲出竝ニ關東州、朝鮮及臺灣ニ於テ爲サルル當該地域以外ノ地域ニ於ケル船員保險ノ事業ノ歲入歲出ハ前項ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ夫々關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ所屬セシムルコトヲ得

第二條 本會計ニ於テハ保險料、一般會計ヨリノ受入金、關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ヨリノ受入金、積立金ヨリ生ズル收入、借入金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ保險

船員保險特別會計法

給付費、關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ特別會計ヘノ繰入金、借入金ノ償還金及利息、事業取扱費其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歳出トス

第三條 本會計ニ於ケル歳入總額ノ歳出總額ニ超過スル金額ハ之ヲ積立ツベシ

本會計ノ歳計ニ不足アルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スベシ

第四條 本會計ニ於テ保險給付費並ニ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ繰入ルル金額ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ借入ヲ爲スコトヲ得

第五條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルベシ

第六條 本會計ノ積立金ハ國債ヲ以テ保有シ又ハ大藏省預金部ニ預入レ之ヲ運用スルコトヲ得

第七條 政府ハ毎年本會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スベシ

第八條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ施行ス

二七 船員保險事業ノ經營ニ件フ關係各會計間ノ

分擔及關涉ニ關スル法律

(昭和十五年三月二十七日法律第十四號)

第一條 内地、關東州、朝鮮又ハ臺灣ニ於ケル船員保險ニ於テ療養ノ給付及傷病手當金ヲ除クノ

外保險給付ヲ爲シタル場合被保險者タリシ者ガ内地、關東州、朝鮮及臺灣ノ中ニ以上ノ地域ニ

於ケル船員保險ノ被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ保險給付ニ要スル費用ニ付國庫ノ負擔スル

金額ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ一般會計並ニ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ於

テ之ヲ分擔ス

第二條 船員保險特別會計ハ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ於テ夫々關東州、

朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險ニ付療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ要シタル費用ニ相當スル金

額並ニ其ノ他ノ保險給付ニ要シタル費用ノ五分ノ四ニ相當スル金額ヲ其ノ特別會計ニ繰入ルル

コトヲ得關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ノ勅令ヲ以テ定ムル支出金ノ額ニ相當

スル金額ニ付亦同ジ

船員保險事業ノ經營ニ件フ關係各會計間ノ分擔及關涉ニ關スル法律

第三條 關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ハ夫々關東州、朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險ノ保險料ノ測定濟歲入額ニ相當スル金額、勅令ヲ以テ定ムル收入ノ額ニ相當スル金額竝ニ船員保險特別會計ニ於テ保險給付ニ要シタル費用ニ關シ第一條ノ規定ニ依リ分擔スベキ金額ヲ船員保險特別會計ニ繰入ルルコトヲ得

關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計相互間ニ於テハ當該特別會計ガ他ノ特別會計ニ於テ保險給付ニ要シタル費用ニ關シ第一條ノ規定ニ依リ分擔スベキ金額ヲ其ノ特別會計ニ繰入ルルコトヲ得

附 則

本法ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ施行ス

二八 船員保險特別會計規則

(昭和十五年六月一日
勅令第三百七十七號)

第一條 歲入歲出ノ豫定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ前年度九月三十日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スベシ

前項ノ豫定計算書ニハ其ノ年三月三十一日現在ノ積立金明細目錄ヲ添付スベシ

第二條 歲入歲出ノ豫算ハ決定ノ後豫備費ヲ除キ所管大臣保險院長官ニ命ジテ之ヲ執行セシムベシ但シ他ノ官吏ニ命ジテ其ノ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

第三條 本會計ニ於テハ當該年度ノ收入濟歲入額ヲ以テ支拂元受高トシ歲出ヲ支出スルハ此ノ支拂元受高ヲ超過スルコトヲ得ズ

第四條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足ヲ生ジタルトキハ所管大臣ハ大藏大臣ノ承認ヲ經テ積立金ニ屬スル現金ヲ前條ノ支拂元受高ニ繰替使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ繰替使用シタル金額ハ當該年度内ニ之ヲ返還スベシ

第五條 毎年度出納ノ完結迄ニ收入濟又ハ支出濟ト爲ラザルモノハ現ニ其ノ收支ヲ爲シタル年度ノ歲入又ハ歲出トス

第六條 歲入徵收官ハ毎月徵收報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘ之ヲ保險院長官ニ送付スベシ

第七條 保險院長官ハ徵收報告書ニ依リ毎月徵收總報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スベシ

第八條 支出官ハ毎月支出濟額報告書ヲ調製シ之ヲ保險院長官ニ送付スベシ

第九條 保險院長官ハ支出濟額報告書ニ依リ毎月支出總報告書ヲ調製シ支出濟額報告書ヲ添へ所管大臣 ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スベシ

第十條 毎年度ニ於ケル歳入ノ收入濟額ヨリ歳出ノ支出濟額ヲ控除シタル過剩額ハ之ヲ積立金ニ組入ルベシ

前項歳入ノ收入濟額ガ歳出ノ支出濟額ニ對シ不足アルトキハ之ヲ積立金ヨリ補足スベシ

第十一條 歳入歳出ノ決定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スベシ

第十二條 保險院ハ日記簿、原簿及補助簿ヲ備へ船員保險ニ關スル一切ノ計算ヲ登記スベシ

第十三條 保險院ハ歳入簿ヲ備へ歳入ノ豫算額、調定濟額、收入濟額、不納缺損額及收入未濟額ヲ登記スベシ

第十四條 支出官ハ支出簿ノ外支拂元受高差引簿ヲ備へ支拂元受高、支出濟額及殘額ヲ登記スベシ

第十五條 保險院ハ歳出簿及支拂元受高差引簿ヲ備へ歳出簿ニハ歳出ノ豫算額、豫算決定後増加額、支出濟額、翌年度繰越額及殘額ヲ登記シ支拂元受高差引簿ニハ支拂元受高、支出濟額及殘

額ヲ登記スベシ

第十六條 本令ニ規定セザルモノニ付テハ會計規則ヲ準用ス

附 則

本令ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ適用ス

二九 船員保險特別會計法第一條第二項ノ規定ニ依リ

關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計

ニ所屬セシムル歳入歳出ノ件

(昭和十五年六月一日 勅令第三百八十號)

船員保險特別會計法第一條第二項ノ規定ニ依リ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ所屬セシムル歳入歳出ハ夫々當該地域ノ船員保險ノ事業ニ於ケル保險料及附屬雜收入ヲ以テ歳入トシ當該地域ノ船員保險ノ事業ニ於ケル保險給付費、事業取扱費其ノ他ノ諸費(昭和十五年勅令第三六七號ニ依リ當該地域以外ノ他ノ地域ニ於テ支出スルモノヲ除ク)及當該地域以外ノ他ノ地域ノ船員保險ノ事業ニ於ケル保險給付費、事業取扱費其ノ他ノ諸費ニシテ同令ニ依リ當該地域ニ於テ支出スルモノヲ以テ歳出トス

附 則

本令ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ適用ス

船員保險特別會計法第一條第二項ノ規定ニ依リ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ所屬セシムル歳入歳出ノ件

三〇 昭和十五年法律第十四號第二條及第三條ノ規定ニ依リ支出金及收入ノ額ヲ定ムルノ件

(昭和十五年六月一日 勅令第三百七十九號)

第一條 昭和十五年法律第十四號第二條ノ規定ニ依ル支出金ノ額ハ昭和十五年勅令第三七八號ニ依リ當該特別會計ヨリ指定共濟組合ニ繰入レタル金額及當該地域以外ノ地域ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ關シ當該特別會計ニ於テ支出シタル保險給付ニ要シタル費用ノ額トス

第二條 昭和十五年法律第十四號第三條ノ規定ニ依ル收入ノ額ハ昭和十五年勅令第三七八號ニ依リ指定共濟組合ヨリ當該特別會計ニ繰入ルベキ金額及當該特別會計ニ於テ支出シタル保險給付ニ要シタル費用ニシテ會計規則第二十九條ノ規定ニ依リ歳入ニ組入ルベキ返納金ノ調定濟額(療養ノ給付及傷病手當金ノ支給以外ノ保險給付ニ關スルモノナルトキハ其ノ調定濟歳入額ノ五分ノ四ニ相當スル額)トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三一 船員保險、關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計並ニ指定共濟組合間ノ船員保險ニ關スル積立ツベキ金額ノ繰入ニ關スル件

(昭和十五年六月一日 勅令第三百七十八號)

第一條 一ノ地域(内地、朝鮮、臺灣又ハ關東州トス以下之ニ同ジ)ニ於ケル船員保險法施行令第八條ノ規定(關東州ニ在リテハ之ニ相當スル法令ノ規定)ニ依リ指定シタル共濟組合(指定共濟組合)ノ組合員タル被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ其ノ地域ニ於テ指定共濟組合ノ組合員タラザル被保險者ト爲リタルトキハ當該共濟組合ハ其ノ者ニ付船員保險ノ保險料率ノ計算ノ基礎ニ依リ計算シタル積立ツベキ額ニ相當スル金額ヲ其ノ地域ガ内地ナルトキハ船員保險特別會計ニ、朝鮮ナルトキハ朝鮮總督府特別會計ニ、臺灣ナルトキハ臺灣總督府特別會計ニ、關東州ナルトキハ關東局特別會計ニ繰入ルベシ

一ノ地域ニ於ケル指定共濟組合ノ組合員タラザル被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ其ノ地域ニ

船員保險、關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計並ニ指定共濟組合間ノ船員保險ニ關スル積立ツベキ金額ノ繰入ニ關スル件

於テ指定共済組合ノ組合員タル被保險者ト爲リタルトキハ其ノ地域ガ内地ナルトキハ船員保險特別會計ヨリ、朝鮮ナルトキハ朝鮮總督府特別會計ヨリ、臺灣ナルトキハ臺灣總督府特別會計ヨリ、關東州ナルトキハ關東局特別會計ヨリ其ノ者ニ付船員保險ノ保險料率ノ計算ノ基礎ニ依リ計算シタル積立ツベキ額ニ相當スル金額ヲ當該共済組合ニ繰入ルベシ

第二條 一ノ地域ニ於ケル指定共済組合ノ組合員タル被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ他ノ地域（内地、朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ中當該地域以外ノモノトス以下之ニ同ジ）ニ於テ指定共済組合ノ組合員タラザル被保險者ト爲リタルトキハ當該共済組合ハ其ノ者ニ付船員保險ノ保險料率ノ計算ノ基礎ニ依リ計算シタル積立ツベキ額ニ相當スル金額ヲ他ノ地域ガ内地ナルトキハ船員保險特別會計ニ、朝鮮ナルトキハ朝鮮總督府特別會計ニ、臺灣ナルトキハ臺灣總督府特別會計ニ、關東州ナルトキハ關東局特別會計ニ繰入ルベシ
一ノ地域ニ於ケル指定共済組合ノ組合員タラザル被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ他ノ地域ニ於ケル指定共済組合ノ組合員タル被保險者ト爲リタルトキハ一ノ地域ガ内地ナルトキハ船員保險特別會計ヨリ、朝鮮ナルトキハ朝鮮總督府特別會計ヨリ、臺灣ナルトキハ臺灣總督府特別會計ヨリ、關東州ナルトキハ關東局特別會計ヨリ其ノ者ニ付船員保險ノ保險料率ノ計算ノ基礎ニ

依リ計算シタル積立ツベキ額ニ相當スル金額ヲ當該共済組合ニ繰入ルベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三二一 船員保險特別會計事務取扱規程（昭和十五年六月三日 厚生省訓令第六號）

- 第一條 船員保險特別會計ニ關スル事務ハ本規程ニ依リ之ヲ取扱フベシ
- 第二條 歳入ノ徵收ニ關シテハ保險院長官、北海道廳長官、府縣知事（東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ）及廳府縣健康保險出張所長ヲ歳入徵收官トス
- 第三條 歳入徵收官ハ保險料、督促手数料及延滞金ノ徵收ニ付テハ徵收補助簿ヲ備ヘ各納人別ニ納人ノ住所氏名、調定濟額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額及調定濟、收入濟又ハ不納缺損處分ノ年月日其ノ他必要ナル事項ヲ登記スベシ
- 前項ノ徵收補助簿ハ保險院長官タル歳入徵收官ニ在リテハ之ヲ各道府縣別ニ編綴シ、保險院長官以外ノ歳入徵收官ニ在リテハ之ヲ各郡市區別ニ整理シ其ノ末尾ニ計ヲ附スベシ
- 第四條 歳入徵收官ハ領收濟通知書（出納官吏拂込ノ分ヲ除ク）、領收濟報告書（本規程第十五條

ノ規定ニ依リ現金領收證書ノ原符ヲ以テ代用スル場合ニ於テハ其ノ原符) 及歳入組入報告書ニ
基キ收入濟額日計表ヲ作製スベシ

第五條 歳入徴收官ハ日本銀行ヨリ領收濟通知書及歳入組入報告書ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ
其ノ額ヲ支出官ニ通知スベシ

第六條 歳入徴收官ハ調定超過ニ依ル過納又ハ調定外誤納ヲ生ジタル場合ニ於テハ過誤納額整理
簿ヲ備ヘ年度、科目、金額、事由、納人ノ住所氏名、還付又ハ充當ノ顛末其ノ他必要ナル事項
ヲ登記スベシ

第七條 歳入徴收官(保険院長官タル歳入徴收官ヲ除ク)ハ船員保險法第十二條第二項ノ規定ニ
依リ滞納處分ヲ市町村ニ請求シタル場合ニ於テハ處分請求滞納者整理簿ヲ備ヘ年度、科目、金
額、納期、請求市町村、滞納者ノ住所氏名、督促狀發付年月日及指定期限其ノ他必要ナル事項
ヲ登記シ處理ノ顛末ヲ明瞭ナラシムベシ

第八條 歳入徴收官不納缺損處分ヲ爲シタルモノニ付テハ納人ノ住所氏名、科目、金額、事由及
保險料ニ付テハ所屬年月等ヲ記載シタル書類ヲ徴收報告書ニ添付スベシ

第九條 歳入徴收官ハ出納官吏、郵便局又ハ日本銀行ニ於テ現金收納後納入告知書又ハ納付書ニ

記載セル年度、所管、會計名又ハ款項ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ翌年度五月三十一日
迄ニ出納官吏、取纏郵便局又ハ日本銀行ニ之ガ訂正ヲ請求スベシ

第十條 保管金取扱規程第十六條及政府保管有價證券取扱規程第二十條ノ主務官廳ハ保険院、北
海道廳、府縣(東京府ニ在リテハ警視廳)及廳府縣健康保險出張所トス

第十一條 毎年度ノ支拂豫算ハ保険院長官、北海道廳長官、府縣知事及廳府縣健康保險出張所長
ニ之ヲ令達ス

第十二條 支出官(保険院長官タル支出官ヲ除ク)ハ歳入金ノ受入ニ依ル支拂元受高ヲ保険院長
官タル支出官ノ支拂元受高ニ轉換ヲ爲シ其ノ旨ヲ直ニ保険院長官ニ通知スベシ但シ差當リ支拂
ニ必要ナル資金ハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 支出官(保険院長官タル支出官ヲ除ク)ハ當該年度最終ノ小切手ヲ振出シタルトキハ
直ニ其ノ支拂元受高ノ殘額ヲ保険院長官タル支出官ノ支拂元受高ニ轉換シ其ノ金額及當該年度
ノ支出濟總額ヲ保険院長官ニ通知スベシ

第十四條 北海道廳長官、府縣知事及廳府縣健康保險出張所長ハ別記様式ニ依リ歳入歳出決定計
算報告書ヲ調製シ翌年度六月十五日迄ニ之ヲ保険院長官ニ送付スベシ

保險院長官ハ前項ノ報告書及自己ノ取扱ニ係ル分(前項別記様式ニ依ル)ヲ取纏メ歳入歳出決定計算總報告書ヲ調製シ翌年度六月三十日迄ニ之ヲ厚生大臣ニ送付スベシ

第十五條 收入官吏納入告知書ニ依ラズシテ現金ヲ領收シタル場合ニ於ケル領收濟報告書ハ現金領收證書ノ原符ヲ以テ代用スベシ

第十六條 出納官吏ノ帳簿及金櫃ノ検査員及立會人ハ出納官吏ニ非ザル者ノ中ヨリ之ヲ命スベシ

第十七條 本令ニ規定セザルモノニ付テハ昭和十三年一月厚生省訓令第一號會計事務取扱規程ニ依ル但シ同令第十二條及第二十五條ニ厚生省又ハ厚生大臣トアルハ保險院長官トス

附 則

本規程ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ適用ス

別記様式

昭和何年度船員保險特別會計歳入歳出決定計算報告書

歳 入

科 目	調定濟額	收入濟額	不納缺損額	收入未濟額	備 考
何々(款)	圓	圓	圓	圓	
何々(項)					
何々(目)					
合 計					

(備考) 保險院ニ於テハ總報告書調製ノ場合ハ豫算額及豫算額ニ比シ收入濟額ノ差欄ヲ設置スルコト

歳 出

科 目	豫算額	流用増減額	豫算現額	支出濟額	翌年度繰越額	不用額	備 考
何々(款)	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
何々(項)							
何々(目)							
計							

(備考) 流用増減額、不用額及翌年度繰越額アル場合ハ各目ニ付其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スルコト

船員保險特別會計事務取扱規程

三三三 船員法其ノ他關係法令拔萃

(一) 船 員 法 (昭和十二年八月十三日 法律第七十九號)

第一條 本法ニ於テ船員トハ日本船舶ニシテ左ニ掲グル船舶以外ノモノニ乗組ム船長及海員ヲ謂

フ

一 船舶法第二十條ニ規定スル船舶

二 平水區域ヲ航行スル船舶

三 總噸數三十噸未滿ノ漁船

前項ノ海員トハ左ニ掲グル者以外ノ乗組員ヲ謂フ

一 船舶所有者以外ノ者ニ雇傭セララル者

二 何人ニモ雇傭セラレズシテ業務ヲ營ム者

三 其ノ他勅令ヲ以テ定ムル者

第六條 船員ハ船員手帳ヲ受有スルコトヲ要ス

船員手帳ノ交付、訂正、書換、保管及返還ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 第二十一條、第二十三條、第二十九條、第三十條及第三十二條ノ規定ハ船長ニ之ヲ準用ス

第十八條 海員ノ雇入契約ノ成立、終了、更新又ハ變更アリタルトキハ船長及海員ハ遲滞ナク管

海官廳ニ出頭シテ其ノ公認ヲ受クルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ船長ガ公認ヲ受クルコト能ハザルトキハ船舶所有者之ヲ受クルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ正當ノ事由アルトキハ代理人ヲシテ公認ヲ受ケシムルコトヲ得

第十九條 海員ハ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタル爲職務ニ従事セザル期間ニ付テモ給料ノ請求ヲ

爲スコトヲ得但シ疾病又ハ傷痍ニ付海員ニ過失アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

海員ハ其ノ職務ヲ行フニ因リテ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタル場合ニ於テハ前項但書ノ規定ニ

拘ラズ疾病又ハ傷痍ニ付海員ニ故意又ハ重大ナル過失ナキ限り同項ニ規定スル給料ノ請求ヲ爲

スコトヲ得

第二十三條 船舶ガ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ海員ノ雇入契約ハ終了ス

一 滅失又ハ沈没シタルトキ

船員法其ノ他關係法令拔萃

二 全ク運航ニ堪ヘザルニ至リタルトキ

船舶ノ存否ガ一月間分明ナラザルトキハ船舶ハ滅失シタルモノト推定ス

第一項ノ規定ニ依リ雇入契約終了シタル場合ト雖モ海員ハ人命、船舶又ハ積荷ノ應急救助ノ爲
必要ナル勞務ニ服スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ雇入契約ハ仍存続スルモノト看做ス

第二十九條 船舶所有者ハ海員ガ疾病ニ罹リ若ハ傷痍ヲ受ケタルトキ、雇入契約終了シタルトキ
又ハ死亡シタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ扶助シ、之ニ手當ヲ支給シ又ハ之ガ葬祭ノ費
用ヲ負擔スルコトヲ要ス

第三十條 船舶所有者ハ雇入契約終了シタル海員ヲ勅令ノ定ムル所ニ依リ雇入港又ハ其ノ希望ス
ル地迄送還スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ海員ハ送還ニ代ヘテ其ノ費用ヲ請求スルコトヲ得

第四十三條 本法及本法ニ基キテ發スル命令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リ
テハ船舶管理人ニ、船舶貸借ノ場合ニ在リテハ船舶借入人ニ之ヲ適用ス

第四十四條 本法ニ依リ管海官廳ノ行フベキ事務ハ外國ニ在リテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國ノ
領事官又ハ貿易事務官之ヲ行フ

第四十五條 本法ニ依リ管海官廳ノ行フベキ事務ニ付テハ主務大臣ハ市町村長、町村制ヲ施行セ
ザル地ニ在リテハ之ニ準ズル者ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十六條 左ニ掲グル船舶ノ乗組員ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

- 一 國又ハ北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ノ所有ニ屬スル船舶
- 二 其ノ他勅令ヲ以テ定ムル船舶

(二) 船員法施行令

(昭和十三年三月二十五日
勅令第三百三十五號)

第一條 船員法第一條第二項第三號ノ乗組員ハ左ニ掲グル者トス

- 一 船内ノ通信官署ニ勤務スル者
- 二 母船式漁業ニ使用スル母船ニ乗組ミ専ラ漁撈若ハ漁獲物ノ加工其ノ他ノ處理又ハ之ニ關ス
ル事務ニ従事スル者
- 三 教習船ニ乗組ミ教習ヲ受クル者

第十四條 海員ガ雇入契約存續中疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ其ノ費用ヲ
以テ療養ヲ施シ又ハ療養ニ必要ナル費用ヲ負擔スルコトヲ要ス但シ療養ヲ施シ又ハ療養ニ必要

船員法其ノ他關係法令抜萃

ナル費用ヲ負擔シタル期間ガ三月ニ及ブモ疾病又ハ傷痍ガ治癒セザルトキハ以後療養ヲ施シ又ハ療養ニ必要ナル費用ヲ負擔スルコトヲ要セズ

海員ガ職務ヲ行フニ因ラズシテ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタル場合ニ於テ疾病又ハ傷痍ニ付海員ニ故意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ前項ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第十五條 海員ガ其ノ職務ヲ行フニ因リ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタル後雇入契約終了シタルトキハ船舶所有者ハ海員ノ雇入契約終了後ト雖モ前條ノ規定ニ依リ其ノ費用ヲ以テ療養ヲ施シ又ハ療養ニ必要ナル費用ヲ負擔スル期間海員ニ給料ト同額ノ手當ヲ支給シ且其ノ期間經過後一月ノ範圍内ニ於テ海員ノ失業期間之ニ給料ト同額ノ手當ヲ支給スルコトヲ要ス但シ疾病又ハ傷痍ニ付海員ニ故意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條 船員法第二十三條ノ規定ニ依リ海員ノ雇入契約ガ終了シタルトキハ船舶所有者ハ二月ノ範圍内ニ於テ海員ノ失業期間之ニ給料ト同額ノ手當ヲ支給スルコトヲ要ス
前項ノ規定ハ漁船ノ海員ニハ之ヲ適用セズ

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ船舶所有者ハ遲滞ナク其ノ費用ヲ以テ雇入港迄海員ヲ送還スルコトヲ要ス但シ船舶所有者ハ其ノ費用ノ負擔ヲ増加セザル場合ニ於テハ海員ノ

希望スル地迄之ヲ送還スルコトヲ要ス

一 船員法第二十三條ノ規定ニ依リ海員ノ雇入契約ガ終了シタルトキ

二 船員法第二十四條各號ニ掲グル場合ヲ除クノ外已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ於テ海員

ガ雇止メラレタルトキ

三 船舶ガ海員ノ雇入港ヲ發航シタル後船員法第二十四條第一號ノ規定ニ依リ海員ガ雇止メラ

レタルトキ

四 船員法第二十四條第三號又ハ第二十五條第一項第二號ノ規定ニ依リ海員ノ雇入契約ガ終了

シタルトキ但シ海員ガ職務ヲ行フニ因ラズシテ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタル場合ニ於テ疾

病又ハ傷痍ニ付海員ニ故意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

五 船員法第二十五條第一項第一號又ハ第三號ノ規定ニ依リ海員ガ雇止ヲ請求シタルトキ

六 船員法第二十六條第一項ノ規定ニ依リ船長ヨリ豫告ヲ爲シタルニ依リ海員ノ雇入契約ガ終

了シタルトキ

七 船員法第二十八條第二項ノ規定ニ依リ海員ノ雇入契約ガ終了シタルトキ

八 海員ノ本國以外ノ地ニ於テ雇入契約ガ期間ノ滿了ニ因リ終了シタルトキ

船員法其ノ他關係法令抜萃

第二十六條 第十條及第十四條乃至第二十五條ノ規定ハ船長ニ之ヲ準用ス

第二十八條 帝國ノ領事官又ハ貿易事務官ハ船員手帳ノ交付、訂正、書換及返還竝ニ第七條、第十一條、第二十五條及第三十一條ノ規定ニ依ル許可ニ關スル事務ヲ除クノ外船員法ニ依リ管海官廳ノ行フベキ一切ノ事務ヲ行フ

第二十九條 船員法第四十六條第一號ニ掲グル船舶ノ船員ガ傭人扶助令、共濟組合規則其ノ他ノ規程ニ依リ給付ヲ受クル場合ニ於テ遞信大臣ガ之ヲ充分ト認メタルトキハ第十條、第十四條乃至第十六條、第十八條乃至第二十條又ハ第二十二條ノ規定ニ依ル給付ハ之ヲ當該船員ニ爲スコトヲ要セズ

船員法第十八條、第二十條及第三十九條ノ規定ハ國ノ所有ニ屬スル船舶ノ船員ニハ之ヲ適用セズ

(三) 船員法施行規則

(昭和十三年三月二十五日 遞信省令第二十一號)

第七條 船員タラントスル者ハ船舶ニ乗組ム際管海官廳ニ出頭シテ船員手帳ノ交付ヲ申請スベシ 管海官廳ナキ港ニ於テ船員ト爲リタル者ハ船舶ガ其ノ後最初ニ到著シタル港ニ於テ前項ノ申請

ヲ爲スベシ

船員法施行地外ニ於テ船員ト爲リタル者ハ船舶ガ同法施行地ニ到著シタル後遲滯ナク第一項ノ申請ヲ爲スベシ

第三十四條 海員ノ雇入契約成立(以下單ニ雇入ト稱ス)ノ公認ヲ申請セントスルトキハ船長ハ左ノ書類ヲ添附シ第六號書式ノ申請書ヲ雇入港ノ管海官廳ニ、其ノ港ニ管海官廳ナキトキ又ハ緊急已ムコトヲ得ザル事由アルトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ提出スベシ

一 海員名簿

二 海技免狀其ノ他ノ資格證明書ヲ受有スルコトヲ要スル海員ニ付テハ海技免狀其ノ他ノ資格證明書

三 十八歳未満ノ海員ニ付テハ船員法第五條ノ健康證明書

第三十五條 船員法ノ適用ヲ受ケザル船舶ガ船員法ノ適用ヲ受クルニ至リタルトキハ船長ハ乗船中ノ海員ニ付船舶ガ船員法ノ適用ヲ受クルニ至リタルトキニ於テ雇入アリタルモノトシテ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十六條 海員ノ雇入契約終了(以下單ニ雇止ト稱ス)ノ公認ヲ申請セントスルトキハ船長ハ

船員法其ノ他關係法令拔萃

海員名簿ヲ添附シ第七號書式ノ申請書ヲ雇止港ノ管海官廳ニ、其ノ港ニ管海官廳ナキトキ、航行中雇止アリタルトキ又ハ緊急已ムコトヲ得ザル事由アルトキハ其ノ後最初ニ到着シタル港ノ管海官廳ニ提出スベシ

第三十八條 船舶ガ船員法ノ適用ヲ受ケザルニ至リタルトキハ船長ハ乗船中ノ海員ニ付船舶ガ船員法ノ適用ヲ受ケザルニ至リタルトキニ於テ雇止アリタルモノトシテ第三十六條ノ手續ヲ爲スベシ

第五十一條 船員法第二十三條第二項ニ規定スル一月ノ期間ハ船舶ガ港ニ到着スベカリシ日ヨリ、其ノ日經過後船舶ノ消息アリタルトキハ最後ノ消息アリタル日ヨリ之ヲ起算ス

第五十七條 船長ガ其ノ指揮セントスル船舶ニ乗組マントスルトキ又ハ其ノ職ヲ退キタルトキハ遲滞ナク船員手帳ニ就職又ハ退職ノ認證ヲ申請スベシ但シ國又ハ北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ノ所有ニ屬スル船舶ノ船長ハ此ノ限ニ在ラズ

第六十一條 左ニ掲グル者ガ乗船又ハ下船シタルトキハ船長又ハ船舶所有者ハ遲滞ナク第十六號書式ノ乗船届又ハ第十七號書式ノ下船届ヲ最寄管海官廳ニ提出スベシ

一 國ノ所有ニ屬スル船舶ノ船員

二 北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ノ所有ニ屬スル船舶ノ船長及雇入契約ニ因ラズンテ之ニ乗組ム海員

三 船舶所有者ト同一ノ家庭ニ屬シ雇入契約ニ因ラズシテ船舶ニ乗組ム海員

四 船員法第一條第二項各號ニ掲グル者（船員法施行令第一條第一號及第三號ニ掲グル者ヲ除ク）

前項第一號乃至第三號ニ掲グル者ニ職務ノ變更アリタルトキハ船長又ハ船舶所有者ハ遲滞ナク第十八號書式ノ職務變更届ヲ最寄管海官廳ニ提出スベシ

第五十條及第五十一條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十三條 船員法第四十三條ニ規定スル船舶貸借ニハ船舶所有者ガ船長其ノ他ノ乗組員ヲ選任シ又ハ雇入レタル場合ヲ包含セザルモノトス

(四) 船 舶 法

(明治三十二年三月八日
法律第四十六號)

第一條 左ノ船舶ヲ以テ日本船舶トス

一 日本ノ官廳又ハ公署ノ所有ニ屬スル船舶

船員法其ノ他關係法令採萃

二 日本臣民ノ所有ニ屬スル船舶

三 日本ニ本店ヲ有スル商事會社ニシテ合名會社ニ在リテハ社員ノ全員、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員ガ日本臣民ナルモノノ所有ニ屬スル船舶

四 日本ニ主タル事務所ヲ有スル法人ニシテ其代表者ノ全員ガ日本臣民ナルモノノ所有ニ屬スル船舶

舊商法ノ規定ニ從ヒテ設立シタル合資會社ニ在リテハ業務擔當社員ノ全員ガ日本臣民ナルモノノ所有ニ屬スル船舶ヲ以テ日本船舶トス

第四條 日本船舶ノ所有ハ日本ニ船籍港ヲ定メ其船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ船舶ノ積量ノ測度ヲ申請スルコトヲ要ス

船籍港ヲ管轄スル管海官廳ハ他ノ管海官廳ニ船舶ノ積量ノ測度ヲ囑託スルコトヲ得

外國ニ於テ取得シタル船舶ヲ外國各港ノ間ニ於テ航行セシムルトキハ船舶所有者ハ日本ノ領事又ハ貿易事務官ニ其船舶ノ積量ノ測度ヲ申請スルコトヲ得

第五條 日本船舶ノ所有者ハ登記ヲ爲シタル後船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ備ヘタル船舶原簿ニ

登録ヲ爲スコトヲ要ス

前項ニ定メタル登録ヲ爲シタルトキハ管海官廳ハ船舶國籍證書ヲ交付スルコトヲ要ス

第二十條 前十六條ノ規定ハ總噸數二十噸未滿又ハ積石數二百石未滿ノ船舶及端舟其他櫓權ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫓權ヲ以テ運轉スル舟ニハ之ヲ適用セズ

(五) 船舶法施行細則

(明治三十二年六月十二日 遞信省令第二十四號)

第一條 本則ニ於テ船舶ノ種類ト稱スルハ汽船、帆船ノ別ヲ謂フ

機械力ヲ以テ運航スル裝置ヲ有スル船舶ハ蒸氣ヲ用ユルト否トニ拘ラス之ヲ汽船ト看做ス

主トシテ帆ヲ以テ運航スル裝置ヲ有スル船舶ハ機關ヲ有スルモノト雖モ之ヲ帆船ト看做ス

第二條 浚渫船ハ推進器ヲ有セサレハ之ヲ船舶ト看做サス

第三條 船籍港ハ市町村ノ名稱ニ依ル但市制、町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ市町村ニ準スヘキ區劃ノ名稱ニ依ル

(六) 船舶安全法施行規則

(昭和九年二月一日 遞信省令第四號)

船員法其ノ他關係法令抜萃

第三條 本令ニ於テ漁船ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スル船舶ヲ謂フ

- 一 専ラ漁獵ニ従事スル船舶
- 二 漁獵ニ従事スル船舶ニシテ漁獲物ノ保藏又ハ製造設備ヲ有スルモノ
- 三 専ラ漁獵場ヨリ漁獲物又ハ其ノ化製品ヲ運搬スル船舶
- 四 専ラ漁業ニ關スル試験、調査、指導若ハ練習ニ従事スル船舶又ハ漁業ノ取締ニ従事スル船舶ニシテ漁獵設備ヲ有スルモノ

前項第一號ノ船舶ニハ其ノ附屬漁船ヲ以テ漁獵ニ従事スル船舶ヲ、前項第二號ノ船舶ニハ其ノ附屬漁船ヲ以テ漁獵ニ従事シ且其ノ漁獲物ノ保藏又ハ製造ニ従事スル船舶ヲモ包含ス

第二十五條 航行區域ヲ分チテ左ノ四種トス

- 一 平水區域
- 二 沿海區域
- 三 近海區域
- 四 遠洋區域

第二十六條 平水區域ハ湖川港内及左ニ掲グル各區域トス

第一區 神奈川縣三浦郡千駄崎ヨリ同郡笠島ヲ經テ千葉縣君津郡富津崎ニ至ル線内

(途中省略)

第三十五區 高雄州猫鼻頭ヨリ同州鷺鬘鼻ニ至ル線内

第二十七條 沿海區域ハ左ニ掲グル各區域トス

- 一 北海道本島、北海道國後島、同擇捉島、同色丹島、同志勃島、同禮文島、同利尻島、同奥尻島、本州、青森縣久六島、島根縣隱岐列島、山口縣見島、四國、九州、長崎縣五島列島、熊本縣天草島、鹿兒島縣甑列島、同縣大隅群島、臺灣本島、澎湖列島、臺北州彭佳嶼、臺東廳火熱島及同廳紅頭嶼ノ各海岸ヨリ二十海里以内ノ區域

(途中省略)

八 沖繩縣沖繩島及同縣島尻郡ノ各島ノ海岸ヨリ二十海里以内ノ區域

第二十八條 近海區域ハ東ハ東經百七十五度、西ハ同九十四度、南ハ南緯十一度、北ハ北緯六十

三度ノ線ニ依リ限ラレタル區域トス

近海區域ハ之ヲ左ノ三區ニ分ツ

第一區 東ハ東經百七十五度、西ハ同百十三度、南ハ北緯二十一度、北ハ同六十三度ノ線ニ依

船員法其ノ他關係法令抜萃

リ限ラレタル區域

第二區 東ハ東經百三十度、西ハ同百二度、南ハ北緯四度、北ハ同二十七度ノ線ニ依リ限ラレタル區域及暹羅海灣

第三區 東ハ東經百七十五度、西ハ同九十四度、南ハ南緯十一度、北ハ北緯二十一度ノ線ニ依リ限ラレタル區域ヨリ第二區ノ區域ヲ除キタル區域

第二十九條 遠洋區域ハ總テノ水面ヲ包含スル區域トス

第三十九條 漁船ノ從業制限ハ漁船特殊規則ノ定ムル所ニ依ル

(七) 漁船特殊規則

(昭和九年二月五日
遞信・農林省令)

漁船特殊規則左ノ通定ム

漁船特殊規則

第一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル漁船ハ無線電信ヲ施設セザルコトヲ得

一 總噸數二百噸未満ノ捕鯨船

二 專ラ漁獵場ヨリ漁獲物又ハ其ノ化製品ヲ運搬スル總噸數二百噸未満ノ漁船

三 總噸數千六百噸未満ノ推進機關ヲ有セザル漁船

第二條 漁船ノ從業制限ハ第一種第二種及第三種ノ三種トス

第三條 第四條各號ニ掲グル業務ヲ除クノ外左ニ掲グル業務ニ從事スル漁船ノ從業制限ハ之ヲ第

一種トス

一 一本釣漁業

二 延繩漁業

三 流網漁業

四 刺網漁業

五 旋網漁業

六 棒受網漁業

七 投鉞漁業

八 曳繩漁業

九 機船底曳網漁業及其ノ他ノ底曳網漁業(汽船「トロール」漁業ヲ除ク)

十 前各號ニ掲グルモノノ外主務大臣ニ於テ前各號ノ業務ニ準ズルモノト認メタル業務

船員法其ノ他關係法令抜萃

第四條 左ニ掲グル業務ニ従事スル漁船ノ從業制限ハ之ヲ第二種トス

- 一 鰹竿釣漁業
 - 二 鮪竿釣漁業
 - 三 鱈一本釣漁業
 - 四 鮪延繩漁業
 - 五 旗魚延繩漁業
 - 六 鮫延繩漁業
 - 七 鱈延繩漁業
 - 八 大鮮延繩漁業
 - 九 機船底曳網漁業（手繰網又ハ打瀬網ヲ使用スルモノ）
 - 十 前各號ニ掲グルモノノ外主務大臣ニ於テ前各號ノ業務ニ準ズルモノト認メタル業務
- 第五條 母船式漁業ニ従事スル母船及左ニ掲グル業務ニ従事スル漁船ノ從業制限ハ之ヲ第三種トス
- 一 汽船「トロール」漁業

二 汽船捕鯨業

- 三 専ラ漁獲場ヨリ漁獲物又ハ其ノ化製品ヲ運搬スル業務
- 四 漁業ニ關スル試験、調査、指導、練習又ハ取締業務

第六條 第二種ノ從業制限ヲ有スル漁船ハ第三條各號ニ掲グル業務ニ従事スルコトヲ得

第七條 管海官廳漁船ノ從業制限ヲ定ムルニ當リ必要アリト認ムルトキハ漁船ノ種類、大小、構造又ハ設備ニ應ジ業務ノ種類ヲ限定スルコトヲ得

第八條 漁船検査證書ノ有効期間内ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ船舶所有者又ハ船長ハ事由ヲ具シタル申請書ヲ最寄管海官廳ニ提出シ其ノ認可ヲ取クベシ

- 一 已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ臨時ニ漁船ヲ其ノ從業制限以外ノ從業制限ニ該當スル業務ニ従事セシムルトキ（第六條ニ該當スル場合ヲ除ク）

二 第一種ノ從業制限ヲ有スル漁船又ハ第二種若ハ第三種ノ從業制限ヲ有スル長サ二十五メートル未滿ノ漁船ヲ漁業ニ使用セズシテ船舶安全法施行地、朝鮮又ハ樺太ト其ノ他ノ地トノ間ノ航行ヲ爲サシムルトキ

第九條 漁船検査證書ノ有効期間内ニ於テ漁船ノ從業制限ヲ變更セントスルトキハ申請書ニ新舊ノ航行ヲ爲サシムルトキ

從業制限ヲ列記シ船舶検査手帳ヲ添ヘ之ヲ最寄管海官廳ニ提出シ其ノ認可ヲ受クベシ

第十條 漁船ニ在リテハ船舶安全法施行規則第四十七條ノ規定ニ拘ラズ長サ七十メートル以上ノモノニ限り専ラ漁獵又ハ漁獲物ノ保藏若ハ製造ニ従事スル者ノ室ト其ノ他ノ者ノ室トハ常ニ區別シ置クベシ

第十一條 汽罐ヲ有セザル長サ二十五メートル未滿ノ漁船ニ付テハ漁船検査證書ノ有効期間ハ三年以内トス

前項ノ漁船ハ中間検査ヲ受クルコトヲ要セズ

第十二條 長サ七十メートル以上ノ漁船ニシテ漁獲物ノ保藏又ハ製造設備ヲ有スル母船(特殊漁船)ガ母船式漁業ニ従事スル爲其ノ仕立港ヲ發航セントスルトキハ特殊船舶検査ヲ行フ但シ特殊船舶検査證書ノ有効期間内ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

(八) 船舶職員法

(明治二十九年四月七日
法律第六十八號)

第一條 日本船舶ニハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外此ノ法律ノ規定ニ依リ船舶職員ヲ乗組マシムヘシ但シ船舶安全法第二條第一項ノ規定ヲ適用セザル船舶ハ此ノ限ニ在ラス

船舶職員ト稱スルハ船長、一等運轉士、二等運轉士、三等運轉士、機關長、一等機關士、二等機關士及三等機關士ヲ謂フ

第二條 海技免狀ヲ有スル者ニアラサレハ船舶職員タルコトヲ得ス

第三條 海技免狀ハ左ノ十二種トス

- 甲 種 船 長
- 甲 種 一 等 運 轉 士
- 甲 種 二 等 運 轉 士
- 乙 種 船 長
- 乙 種 一 等 運 轉 士
- 乙 種 二 等 運 轉 士
- 丙 種 船 長
- 機 關 長

船員法其ノ他關係法令抜萃

- 一等機關士
- 二等機關士
- 三等機關士

三四 廳府縣健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域

(一) 北海道廳健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域

(昭和四年八月一日
內務省告示第二百六十號)

【沿革】 昭和八年五月告示第一三六號改正

北海道官制第三十七條ニ依リ北海道廳健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域左ノ通定ム

北海道廳健康保險出張所名稱、位置及管轄區域表

名 稱	位 置	管 轄 區 域
北海道廳函館健康保險出張所	北海道函館市 (元町一丁目渡島支廳內)	函館市、渡島支廳管內、檜山支廳管內
北海道廳旭川健康保險出張所	北海道旭川市 (八條通一七丁目)	旭川市、上川支廳管內、留萌支廳管內、宗谷支廳管內、網走支廳管內
北海道廳釧路健康保險出張所	北海道釧路市 (浦見町釧路支廳內)	釧路市、釧路支廳管內、十勝支廳管內、根室支廳管內
廳府縣健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域		

(二) 警視廳及府縣健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域

(昭和十年五月一日
內務省告示第三百八號)

【沿革】 昭和十二年八月告示第四八九號、同十四年六月同第三六九號改正、同十五年六月同第四百一號改正

警視廳官制第三十四條及地方官官制第四十八條ノ二ノ規定ニ依リ警視廳及府縣出張所ヲ置キ其ノ名稱、位置及管轄區域ヲ別表ノ通定ム

(別表)

警視廳及府縣出張所ノ名稱、位置及管轄區域表

名稱	位置	管轄區域
警視廳芝健康保險出張所	東京府東京市	芝區、麴町區、神田區、麻布區、赤坂區及大島八丈並小笠原各支廳管內
警視廳京橋健康保險出張所	東京府東京市	京橋區、日本橋區

警視廳兩國健康保險出張所	東京府東京市 (本所區東兩國一ノ二ノ三)	下谷區、淺草區、本所區、深川區
警視廳龜戶健康保險出張所	東京府東京市 (城東區龜戶町六ノ二〇〇)	向島區、城東區、葛飾區、江戸川區
警視廳王子健康保險出張所	東京府東京市 (王子區王子町一〇〇)	荒川區、王子區、足立區
警視廳板橋健康保險出張所	東京府東京市 (板橋區板橋町二ノ九四)	板橋區、豐島區、瀧野川區
警視廳新宿健康保險出張所	東京府東京市 (四谷區三光町八)	四谷區、牛込區、小石川區、本郷區、目黒區、世田谷區、澁谷區、淀橋區、中野區、杉並區
警視廳品川健康保險出張所	東京府東京市 (品川區大井立會町五五)	品川區、大森區、荏原區
警視廳蒲田健康保險出張所	東京府東京市 (品川區大井立會町五六五 警視廳品川健康保險出張所內)	蒲田區
警視廳八王子健康保險出張所	東京府八王子市 (元橫山町四三)	八王子市、西多摩郡、南多摩郡、北多摩郡
神奈川縣川崎健康保險出張所	神奈川縣川崎市	川崎市、鶴見區

廳府縣健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域

長野縣岡谷健康保
險出張所 長野縣岡谷市 岡谷市、飯田市、諏訪郡、上伊那郡、下伊那郡、西筑摩郡

静岡縣濱松健康保
險出張所 静岡縣濱松市 濱松市、榛原郡、小笠郡、周智郡、磐田郡、濱名郡、引佐郡

愛知縣熱田健康保
險出張所 愛知縣名古屋屋市 熱田區、昭和區、中川區、港區、南區、半田市、愛知郡、知多郡、海部郡

愛知縣一宮健康保
險出張所 愛知縣一宮市 一宮市、羽丹郡、葉栗郡、中島郡

愛知縣岡崎健康保
險出張所 愛知縣岡崎市 岡崎市、碧海郡、幡豆郡、額田郡、西賀茂郡、東賀茂郡

愛知縣豐橋健康保
險出張所 愛知縣豐橋市 豐橋市、北設樂郡、南設樂郡、寶飯郡、渥美郡、八名郡

大阪府大手前健康
保險出張所 大阪府大手前之町 東區、南區

大阪府城東健康保
險出張所 大阪府大阪市 天王寺區、東成區、布施市、中河內郡、北河內郡

大阪府天滿健康保
險出張所 大阪府大阪市 北區、東淀川區、旭區、吹田市、三島郡

大阪府淀川健康保
險出張所 大阪府大阪市 此花區、西淀川區、豐中市、豐能郡

大阪府泉尾健康保
險出張所 大阪府大阪市 西區、港區、大正區、浪速區

大阪府玉出健康保
險出張所 大阪府大阪市 住吉區、西成區、堺市、南河內郡

大阪府泉南郡貝塚町
大阪府泉南郡貝塚町 岸和田市、泉南郡、泉北郡

兵庫縣尼崎健康保
險出張所 兵庫縣尼崎市 尼崎市、西宮市、川邊郡、武庫郡、有馬郡、多紀郡、氷上郡

兵庫縣姬路健康保
險出張所 兵庫縣姬路市 姬路市、飾磨市、赤穂郡、佐用郡、宍粟郡、揖保郡、飾磨郡、神崎郡、朝來郡、養父郡、城崎郡、出石郡、美方郡、印南郡、加古郡、加東郡、加西郡、多可郡

福岡縣小倉健康保
險出張所 福岡縣小倉市 門司市、小倉市、戸畑市、八幡市、若松市、京都市、築上郡、企救郡

福岡縣久留米健康
保險出張所 福岡縣久留米市 久留米市、大牟田市、朝倉郡、三井郡、浮羽郡、八女郡、三門郡、三潁郡、三池郡

廳府縣健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域

三五 船員保險ノ事務ヲ行フ管海官廳ノ名稱、位置及管轄區域

一、遞信局

- | | | |
|-------------------|---|-----------------|
| 東京地方遞信局海事部 (東京市) | 同 | 芝浦分室 (東京市) |
| 同 横濱出張所 (横濱市) | 同 | 横濱出張所川崎分室 (川崎市) |
| 同 浦賀出張所 (神奈川、浦賀町) | 同 | 清水出張所 (清水市) |
| 同 新潟出張所 (新潟市) | | |
| 名古屋遞信局海事部 (名古屋市) | 同 | 伏木出張所 (富山伏木町)、 |
| 大阪遞信局海事部 (大阪市) | 同 | 築港分室 (大阪市) |
| 同 神戸出張所 (神戸市) | 同 | 相生出張所 (兵庫、相生町) |
| 同 撫養出張所 (徳島、撫養町) | 同 | 高知出張所 (高知市) |
| 同 勝浦出張所 (和歌山、勝浦町) | | |

- | | | |
|--------------------|---|----------------|
| 廣島遞信局海事部 (三原市) | 同 | 玉 出張所 (岡山、日比町) |
| 同 因島出張所 (廣島、土生町) | 同 | 境 出張所 (鳥取、境町) |
| 同 三津濱出張所 (愛媛、三津濱町) | | |
| 熊本遞信局海事部 (門司市) | 同 | 下關分室 (下關市) |
| 同 長崎出張所 (長崎市) | 同 | 若松出張所 (福岡、若松市) |
| 同 若松出張所戸畑分室 (戸畑市) | 同 | 三池出張所 (大牟田市) |
| 同 鹿兒島出張所 (鹿兒島市) | | |
| 仙臺遞信局海事部 (石巻市) | 同 | 青森出張所 (青森市) |
| 札幌遞信局海事部 (函館市) | 同 | 小樽出張所 (小樽市) |
| 同 釧路出張所 (釧路市) | | |

三六 管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村及之ニ準ズルモノ

北海道 室蘭市役所

岩内郡岩内町役場

管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村及之ニ準ズルモノ

茅部郡森町役場
 留萌郡留萌町役場
 宗谷郡稚内町役場
 網走郡網走町役場
 浦河郡浦河町役場
 大島波浮港村役場
 舞鶴市役所
 東京府
 大島波浮港村役場
 神奈川縣
 三浦郡三崎町役場
 三原郡福良町役場
 兵庫縣
 飾磨郡飾磨市役所
 城崎郡港村役場
 長崎縣
 佐世保市役所
 南高來郡口之津町役場
 北松浦郡小値賀町役場
 松前郡福山町役場
 天鹽郡天鹽町役場
 根室郡根室町役場
 紋別郡紋別町役場
 厚岸郡厚岸町役場
 與謝郡宮津町役場
 足柄下郡真鶴町外二箇村組合役場
 津名郡江井町役場
 赤穂郡坂越町役場
 西彼杵郡崎戸町役場
 北松浦郡平戸町役場
 南松浦郡玉之浦町役場

新潟縣

下縣郡嚴原町役場
 中頸城郡直江津町役場
 佐渡郡小木町役場

千葉縣

銚子市役所
 館山市役所

茨城縣

那珂郡那珂湊町役場
 四日市市役所

三重縣

度會郡鷺倉村役場
 度會郡南海村役場
 志摩郡的矢村役場
 北牟婁郡引本町役場
 南牟婁郡鷺殿村役場

愛知縣

半田市役所
 知多郡常滑町役場

管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村及之ニ準ズルモノ

上縣郡佐須奈村役場
 佐渡郡兩津町役場

夷隅郡勝浦町役場

久慈郡久慈町役場
 度會郡大湊町役場
 志摩郡烏羽町役場
 北牟婁郡尾鷲町役場
 志摩郡濱島町役場
 南牟婁郡荒坂村役場
 南牟婁郡南輪内村役場
 寶飯郡三谷町役場

静岡縣

賀茂郡下田町役場

賀茂郡田子村役場

志太郡燒津町役場

榛原郡御前崎村役場

宮城縣

宮城縣鹽釜町役場

桃生郡十五濱村役場

石城郡小名濱町役場

福島縣

釜石市役所

氣仙郡大船渡町役場

青森縣

下北郡大湊町役場

下北郡大奧村役場

山形縣

酒田市役所

秋田縣

南秋田郡土崎港町役場

山本郡能代港町役場

賀茂郡稻取町役場

田方郡伊東町役場

磐田郡掛塚町役場

本吉郡氣仙沼町役場

牡鹿郡鮎川村役場

石城郡江名町役場

下閉伊郡宮古町役場

八戸役所

東輕津郡平館村役場

南秋田郡船川港町役場

福井縣

坂井郡三國町新保村組合役場

石川縣

七尾市役所

石川郡金石町役場

富山縣

下新川郡魚津町役場

下新川郡櫻井町役場

鳥取縣

鳥取市役所

島根縣

邇摩郡溫泉津町役場

那賀郡濱田町役場

岡山縣

和氣郡片上町役場

兒島郡宇野町役場

廣島縣

廣島市役所

尾道市役所

加茂郡安登村役場

豐田郡御手洗町役場

敦賀市役所

能美郡安宅町役場

羽咋郡福浦村役場

上新川郡東岩瀬町役場

周吉郡西郷町役場

知夫郡黒木村役場

兒島郡下津井町役場

吳市役所

安藝郡音戸町役場

豐田郡幸崎町役場

豐田郡木ノ江町役場

管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村及之ニ準ズルモノ

山口縣

豐田郡中野村役場
沼隅郡浦崎村役場
御調郡田熊村役場
徳山市役所

豐田郡東野村役場
御調郡三庄町役場
宇部市役所
防府市役所

下松市役所

大島郡久賀町役場

大島郡和田村役場

大島郡安下庄町役場

大島郡小松町役場

熊毛郡上關村役場

熊毛郡麻里府村役場

吉敷郡井關村役場

和歌山縣

新宮市役所

和歌山市役所

海草郡下津町役場

日高郡白崎村役場

日高郡松原村役場

西牟婁郡田邊町役場

西牟婁郡串本町役場

勝浦郡小松島町役場

徳島縣

徳島市役所

那賀郡橋町役場

海部郡三岐田町役場

那賀郡富島町役場

那賀郡椿村役場

海部郡牟岐町役場

綾歌郡坂出町役場

香川縣

高松市役所

仲多度郡多度津町役場

宇和島市役所

今治市役所

八幡濱市役所

新居濱市役所

越智郡東伯方村役場

越智郡波止濱町役場

溫泉郡西中島村役場

喜多郡長濱町役場

西宇和郡川之石町役場

南宇和郡東外海村役場

安藝郡室戸町役場

長岡郡三里村役場

安藝郡甲浦町役場

安藝郡室戸岬町役場

高岡郡須崎町役場

吾川郡浦戸町役場

高岡郡下田町役場

高岡郡宇佐町役場

高知縣

管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村及之ニ準ズルモノ

幡多郡清水町役場

福岡縣

福岡市役所

三潞郡大川町役場

大分縣

北海部郡佐賀關町役場

北海部郡津久見町役場

南海部郡佐伯町役場

佐賀縣

西松浦郡山代町役場

東松浦郡呼子町役場

熊本縣

宇土郡三角町役場

葦北郡水俣町役場

宮崎縣

延岡市役所

南那珂郡油津町役場

兒湯郡美々津町役場

鹿兒島縣

川邊郡枕崎町役場

八幡市役所

北海部郡臼杵町役場

北海部郡保戸島村役場

唐津市役所

小城郡芦刈村役場

天草郡阿村役場

宮崎郡赤江町役場

南那珂郡南郷村役場

東臼杵郡富島町役場

大島郡名瀬町役場

大島郡古仁屋町役場

沖繩縣

那覇市役所

日置郡串木野町役場

管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村及之ニ準ズルモノ

昭和十五年七月十五日印刷
昭和十五年七月二十日發行

【定價 壹圓四拾錢】

不許
複製

東京市麴町區大手町一ノ七厚生省內

發行者

財團
法人

健康保險協會
理事 阿賀正美

印刷者

東京市神田區鎌倉町五番地

古川篤夫

印刷所

東京市神田區鎌倉町五番地

東陽印刷株式會社

東京市神田區鍛冶町二丁目二番地

發行所

財團法人健康保險協會出版部

電話神田(25) 九六六四、九四八番
振替口座東京 二五二三八番

905
55

終

